

令和5年度第3回岩手県企業局経営評価委員会 議事録

令和6年2月6日(火) 14時00分 から 15時45分 まで

岩手教育会館カンファレンスルーム 200

次 第

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 議題
  - (1) 令和5年度の経営評価(実績見込)について
  - (2) 第2期中期経営計画最終案について
- 4 閉 会

所 属		氏 名
委員長	一関工業高等専門学校	明石 尚之
委 員	いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社	阿部 瑛子
〃	岩手県立大学総合政策学部	泉 桂子
〃	早稲田大学水循環システム研究所 株式会社群馬東部水道サービス	濤川 進
〃	盛岡ガス株式会社	松川 顕
企業局	局長	中里 裕美
〃	次長兼経営総務室長	佐々木 眞一
〃	技師長	村上 敏弘
〃 (経営総務室)	管理課長	千葉 順幸
〃	予算経理担当課長	菊地 教文
〃 (業務課)	総括課長	高橋 浩
〃	事業担当課長	菅原 英明
〃	電気課長	白井 孝明
〃	土木・施設担当課長	小西 達哉
〃 (施設総合管理所)	施設総合管理所長	山谷 紀彦
〃 (県南施設管理所)	県南施設管理所長	室月 敦
事務局	経営総務室 経営企画課長	伊藤 隆行
〃	経営総務室 経営企画担当 主査	菊池 智也
〃	経営総務室 経営企画担当 主任	中村 圭佑
〃	経営総務室 管理担当 特命課長	細川 普基

(委員 50音順 敬称略)

---

---

(発言者)

(発言内容)

【 1 開 会 】

佐々木次長 定刻となりましたので、ただいまから、令和5年度第3回岩手県企業局経営評価委員会を開催いたします。

本日、暫時、進行役を務めさせていただきます次長の佐々木でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

この岩手県企業局経営評価委員会は、基本的に公開として開催することとしており、ホームページ等でも掲載しているところです。本日の傍聴は報道関係者3名となっております。

それでは、お手元の次第により、進行してまいりたいと存じます。

開会に当たりまして、企業局長の中里よりご挨拶申し上げます。

【 2 挨拶 】

中里局長 皆様、本日は大変お忙しいところ、ご出席いただきましてありがとうございます。

まず初めに、元日に発生した能登半島地震により被災された皆様にお見舞いを申し上げます。

さて、本日の会議ですが、令和5年度経営実績見込みの評価と第2期中期経営計画の最終案について、ご意見をいただきたいと思っております。

今年度を振り返りますと、電気事業では、令和6年度から令和8年度を対象とした新たな電力供給契約を締結したところです。加えて、2050年カーボンニュートラルを見据え、新規水力発電所の開発に向けた調査を継続しているほか、今年度から新たに既存発電所の出力アップに向けた調査検討をはじめたところです。

また、工業用水道事業では、将来の水需要を踏まえて、新北上浄水場建設事業の第二期工事を進めてきたところです。

来年度からの第2期中期経営計画につきましては、これまで皆様から貴重なご意見をいただいております。また、令和6年度当初予算の編成状況を踏まえまして収支計画を追加したほか、経常収支比率などの具体的な経営目標や取組目標を追加し、最終案として本日お示しをいたしましてご意見をいただきたいと思っております。

本日も様々な視点から貴重なご意見をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

佐々木次長 それでは議事に入りたく存じます。

以降の議事進行は、明石委員長にお願いいたします。

### 【 3 議 題 】

(1) 令和5年度の経営評価（実績見込）について

明石委員長 委員長の明石です。よろしくお願いします。

それでは、事務局から配布されておりますタイムスケジュールに沿って進めてまいりますので、進行にご協力をよろしくお願いいたします。

本日の内容ですが、令和5年度経営実績見込みの評価及び第2期中期経営計画の最終案についてご意見をいただきます。

では早速令和5年度経営実績見込みの評価から始めたいと思います。説明と質疑応答は、電気事業、工業用水道事業、組織力向上と地域貢献の3つに分けて行います。

それでは、電気事業について事務局から説明をお願いします。

令和5年度の電気事業の経営評価（実績見込）について

伊藤経営企画課長が下記資料に基づき、説明を行った。

資料1 令和5年度経営評価の総括（実績見込）

資料2 令和5年度経営評価総括表（実績見込）

参考資料1 令和5年度取組内容一覧表

明石委員長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等はございませんか。

濤川委員 資料1の主な成果等で、6発電施設に光回線を敷設したとありますが、光ファイバーケーブルで結んだということでしょうか。また、これがどういう形でIoT技術の活用につながるか説明をお願いします。

白井電気課長 胆沢第二発電所、岩洞第一発電所、岩洞取水口、滝発電所、北ノ又発電所、北ノ又第二発電所の6発電施設に光回線の整備を進めてきたところです。光回線は通信事業者のサービスを活用するもので、発電所側で保守支援装置やWebカメラなどの大容量のデータを伝送できる環境を整備したところです。

松川委員 資料1の主な課題と今後の対応で、温室効果ガス排出量2050年実質ゼロに貢献するということですので、1点お話をさせていただきたいと思います。

資料の中では再生可能エネルギー発電による貢献ということを謳っておられますが、ガス事業者の立場から申し上げますと、現在、都市ガスはLNGで事業を行っていますが、低炭素ではあるが脱炭素ではないということで、大手ガス事業者を中心にeメタンの開発が進められており、大阪ガスと東京ガスでは、2030年に全供給量のうち1%をeメタンに切り替えることを目標に掲げています。問題はグリーン水素をどのように手配するかということで、海外から輸入するという事とも言われていますが、岩手県においては企業局の再生可能エネルギー電気から水素を作ることが可能です。将来的には、企業局の再生可能エネルギー電気から作られた水素と二酸化炭素を合成してeメタンを供給するという未来があるかもしれないということをご紹介させていただきます。

伊藤経営企画課長 企業局としても水素利活用推進プロジェクトに参加しており、県の取組を注視しつつ、eメタンなどの新しい技術についても勉強しつつ進めてまいります。

松川委員 地産地消のエネルギーになりますので、よろしくをお願いします。

明石委員長 そのほか質問等はございませんか。

なければ、工業用水道事業について事務局から説明をお願いします。

令和5年度の工業用水道事業の経営評価（実績見込）について

伊藤経営企画課長が下記資料に基づき、説明を行った。

資料1 令和5年度経営評価の総括（実績見込）

資料2 令和5年度経営評価総括表（実績見込）

参考資料1 令和5年度取組内容一覧表

明石委員長 ただ今の説明につきまして、ご質問、ご意見等はございませんか。

泉委員 資料2の6ページに、北上ろ過施設配水管盛替工事が取り止めになったと記載がありますが、問題はないのでしょうか。

菅原事業担当課長 資料2に記載のとおり、大手半導体企業の工場用地造成の遅れに伴い、今年度は取り止めたものです。市道払下げ手続きが整い、工場用地造成が完了後、工事に着手する方向で引き続き対応してまいりたいと考えています。

松川委員 スマートメーターについて、ガス事業者でも大手を中心にスマートメーター化を進めており、ガスメーターと水道メーターを生産している企業に工業用水道事業におけるスマートメーターの先進事例を伺ったところ、多くのデータを取得できることから、ユーザー側にもメリットがあると仰っていました。岩手県でもユーザー側のメリットも考慮して取組を進めていくという認識でよろしいでしょうか。

菅原事業担当課長 スマートメーターに関しては、今年度はどのようなものを導入できるのかといった観点で、メーカーや先進事例の調査を行ってきたところです。来年度以降は、ユーザーに協力いただいたうえで試験的に導入させていただき、導入に当たっての課題やユーザー側のメリットなどを確認していきたいと考えています。

濤川委員 スマートメーターと管路漏水監視システムについて技術的な調査を行ったと記載がありますが、漏水調査は技術的に難しく、水道企業体の課題になっています。工業用水道においても同様だと思いますが、具体的にどのような調査を行ったのか、また、採用できる可能性があるものだったのか教えてください。

菅原事業担当課長 管路漏水監視システムはスマートメーターとセットで考えておりまして、スマートメーターで不自然な使用形態が確認された場合、早期の漏水等の確認ができるという観点で調査を行ったものです。

濤川委員 近年、衛星を活用した漏水調査をPRする企業もありますが、工業用水道の場合はそこまで調査範囲が広くないという理解でよろしいでしょうか。

菅原事業担当 岩手県の工業用水道事業は、特定の工業団地に給水しておりますので、  
課長 他の工業用水道事業者と比較しても、給水区域は限定されているものと認識  
しています。

濤川委員 岩手県の工業用水道事業の有収率はどれくらいでしょうか。

菅原事業担当 概ね100%と認識しており、現時点では、漏水を問題として把握して  
課長 おりません。

濤川委員 ご承知のとおり上水道事業者の場合、有収率は概ね90%前後で、約1  
00%が漏水しています。工業用水道はきちんと配水されているものと理解  
しました。

明石委員長 そのほかご質問、ご意見等はございませんか。

なければ、組織力向上と地域貢献について事務局から説明をお願いします。  
す。

令和5年度の組織力向上と地域貢献の経営評価（実績見込）について

伊藤経営企画課長が下記資料に基づき、説明を行った。

資料1 令和5年度経営評価の総括（実績見込）

資料2 令和5年度経営評価総括表（実績見込）

参考資料1 令和5年度取組内容一覧表

明石委員長 ただ今の説明について、ご質問、ご意見等はございませんか。

泉委員 県の施策に対する財政支援等は、毎年度実施しているものでしょうか。  
70周年は大切な節目だと思いますので、記念事業の検討状況について  
可能な範囲で教えてください。

佐々木次長兼 県の施策への財政支援等につきましては、各年度の企業局の財務状況を  
経営総務室長 踏まえつつ、知事部局等と調整して決定しているところです。

伊藤経営企画 70周年記念事業についてですが、60周年から70周年までの10年  
課長 間の記録誌を作成する予定であるほか、若手職員による記念事業の検討会  
を立ち上げ、検討を進めていく予定です。

松川委員 医療局への貸付は有利子で行われるのでしょうか。

菊地予算経理 元本は5年据え置きとし、有利子で貸し付けを行う予定です。  
担当課長

松川委員 民間の金融機関からの借入れは行わないのでしょうか。

菊地予算経理 建設改良費の財源は民間の金融機関から借り入れることが可能ですが、  
担当課長 営業費用の財源は民間の金融機関から借り入れることはできません。

濤川委員 電気事業会計の過年度利益剰余金は令和4年度末でいくらだったの  
でしょうか。

菊地予算経理 令和4年度決算時点で、利益剰余金は約70億円強を積み立てており  
担当課長 ます。また、医療局への貸付は損益勘定留保資金を原資としています。

明石委員長 そのほかご質問、ご意見等はございませんか。

それでは、委員の皆様から出されたご意見を参考に、今後の取組を進  
めて頂きたいと思います。

### 【 3 議 題 】

#### (2) 第2期中期経営計画最終案について

明石委員長 次に第2期中期経営計画の最終案に移ります。事務局から説明をお願いします。

伊藤経営企画課長が下記資料に基づき、説明を行った。

資料3 第2期中期経営計画最終案

資料4 第2期中期経営計画最終案（概要版）

明石委員長 ただ今の説明について、ご質問、ご意見等はございませんか。

泉委員 質問が3点あります。

資料3 23ページの、工業用水道事業の経常収支比率の経営目標が60%前後ということについて、予備知識がない一般の方が見た場合でも、ビジネスモデルとして問題ないということが理解できるよう説明があった方が良いと思います。

資料3 25ページのワークライフバランスの確保について、所属長及び管理職員が主導して意識改革を行うとの記載がありますが、管理職の考え方や部下への接し方が職場の雰囲気左右すると思います。どのように取り組んでいく予定か教えてください。

資料3 26ページに記載がある企業局施設を活用したエネルギー学習機会の提供と事業活動の脱炭素化推進について、どのような取り組みを行う予定か教えてください。

菅原事業担当 工業用水道事業の経常収支比率の経営目標についてですが、新北上浄水場の供用開始に伴う減価償却費の増加により、令和6年度から令和8年度にかけては60%前後になると見込んでおりますが、数値目標に説明を加えるのは難しいところもあると感じています。なお、第2期中期経営計画の上位計画であります岩手県企業局長期経営方針（2020～2029）の収支計画においても、令和11年度までは収益的収支が赤字になるということはお示しさせていただいているところです。

千葉管理課長 ワークライフバランスの確保について、働き方改革に向けた取組として、令和2年度に策定したロードマップに基づき、ノートパソコンの配備やWi-Fi環境の整備など、ハード面の整備を進めてきたところです。職員の働き方改革に関する意識も業務の進め方などのソフト面に移行してきておりまして、チームで取り組む業務については管理職の理解とリーダーシップが必要と考えており、職員からの提案は尊重したうえで、可能な点は改善したうえで実行していく予定です。

---

伊藤経営企画課長 企業局施設を活用したエネルギー学習機会の提供については、毎年度開催している施設見学会において、環境学習講座を受講できるコースを一部設定しております。次年度以降も引き続き環境学習講座を併設した施設見学コースを設定していきたいと考えています。

また、事業活動の脱炭素化については、次年度に企業局が所有する施設への自家消費型太陽光発電の導入可能性について調査することを予定しているほか、CO<sub>2</sub>フリー電気の使用量を増やす方向で検討していきたいと考えています。

濤川委員 資料3 29ページ以降の収支計画について、電気事業は起債がゼロで令和8年度末の企業債残高を約1億円と見込むなど、優良な経営がなされていると思います。

一方で、工業用水道事業は、資本的収支も収益的収支も赤字が継続する見込みで、企業債残高は令和8年度末で約234億円まで膨らむ見込みです。経営悪化の要因は、いわて県民計画の北上川バレープロジェクトの一環として、企業誘致に向けた工業団地整備に伴う新北上浄水場の建設という先行投資を行ったためだと思います。一時的な赤字であって、将来に向けた投資の結果であるということが県民に理解されるように説明を加えた方が良いと思います。

そこで、新北上浄水場建設事業のきっかけとなった北上川バレープロジェクトはどのようなものか説明をお願いします。また、岩手県企業局長期経営方針（2020～2029）で見込んでいる収支計画について説明をお願いします。

菅原事業担当課長 岩手県企業局長期経営方針（2020～2029）において、令和11年度までの収支計画を定めておまして、令和5年度以降は一時的に経常損益が赤字となりますが、資産の償却が進む令和16年度以降は黒字となる見込みである旨、また、将来にわたって資金残高の不足は生じない旨、注積で補足しています。長期的な収支見通しは都度見直しつつ、安定的な事業運営に努めているところです。

濤川委員 岩手県企業局長期経営方針（2020～2029）は公表されているのでしょうか。

菅原事業担当課長 第2期中期経営計画の上位計画ですので、もちろん公表されておまして、長期経営方針に基づいて中期経営計画を3期に分けて策定しております。

濤川委員 中期経営計画は計画期間の3か年を対象として記載しているという理解でよろしいでしょうか。

菅原事業担当課長 ご推察のとおりです。

---

---

伊藤経営企画課長 北上川バレープロジェクトの概要ですが、いわて県民計画の新しい時代を切り開くプロジェクトとして、県内に3つのゾーンを設定してプロジェクトを進めており、県央と県南の広域振興圏で進めているものが北上川バレープロジェクトでして、この地域には自動車産業や半導体産業の集積が進んでおり、新たな雇用の創出が見込まれることから、更なる産業振興を推進するものです。自動車産業や半導体産業は生産工程で大量の水を使用しますので、産業振興の一環として、水需要に応じて工業用水道を整備するものです。

濤川委員 北上川バレープロジェクトと新北上浄水場建設事業の関係については、県民の方に理解をいただけるよう、中期経営計画においても説明を加えた方が良くと思います。

阿部委員 電気事業に関して2点質問、工業用水道事業に関して質問が1点と意見が1点あります。

資料3 15ページに記載されている新たな電源開発に向けた調査等について、現時点で想定している具体的な方向性を教えてください。

資料3 17ページに記載されている電気事業の経常収支比率の経営目標について、令和7年度の経常費用が令和6年度、令和8年度と比較して小さい要因を教えてください。

工業用水道事業では新北上浄水場第二期建設工事に取り組まれています、工事は令和10年度までという認識でよろしいでしょうか。

新北上浄水場建設事業について、先ほど濤川委員からも県民の理解というお話がありましたが、新北上浄水場第一期建設工事が完成したタイミングで施設を見学しましたが、立派な施設で、県内の製造業を支えるインフラとして非常に重要な役割を果たしているものと再認識しました。資料3 26ページには、企業局事業の理解促進についての記載もありますので、学生や企業向けの見学といった形でも周知を図っていただきたいと思います。

伊藤経営企画課長 新たな電源開発に向けた調査等についてです。今般、東北地方においても自然条件によって出力が変動する太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの導入が進んでおまして、出力抑制が行われております。出力抑制が行われるということは、活用されない再生可能エネルギーが生じているということですので、これらを有効に活用するために、変動する再生可能エネルギーを調整する役割を担う電源が必要と考えています。今後は、大型の蓄電池や揚水発電のような電源の調査検討を進めていきたいと考えています。

白井電気課長 電気事業の令和7年度の経常費用についてです。資料3 30ページの電気事業の収支計画に係る修繕費の内訳をご覧いただきたいのですが、どうしても年度によってばらつきが生じてしまっているという状況です。



菅原事業担当 新北上浄水場建設事業は3期に分けて工事を計画しておりまして、第一期建設工事は令和4年度までで既に完成しております。第二期建設工事に現在着手しておりまして、令和8年度の完成を目指して進めております。現時点では、第三期建設工事は、令和10年度末までの完成を目指すということで調整を進めています。

伊藤経営企画 企業局事業の理解促進に向けて、年間1,000名を超える施設の見学者を受け入れておりまして、その中には学生も含まれております。そのほか、インターンシップの受け入れ等を行っているほか、今年度はメディアを活用した広報を行っておりますので、そういった手段を活用して理解促進に努めてまいります。

阿部委員 新北上浄水場建設事業についてもう1点質問があるのですが、第二期建設工事の完成によって給水能力はどの程度になるのでしょうか。

菅原事業担当 第二期建設工事によって給水能力は20,000m<sup>3</sup>/日が追加になりまして、第一期建設工事分と併せて、新北上浄水場の給水能力は40,000m<sup>3</sup>/日となる見込みです。

濤川委員 新北上浄水場第一期建設工事の完成に伴い、給水能力が20,000m<sup>3</sup>/日増加しましたが、収支計画では令和6年度から令和8年度の給水収益がそれほど伸びていません。令和6年度から令和8年度は契約水量が伸びないということでしょうか。

菅原事業担当 給水区域内の企業活動によって水需要が段階的に増加しますので、給水能力が20,000m<sup>3</sup>/日増えたので、いきなり全量契約していただくというものではありません。将来の水需要を踏まえて収支計画を立てているものです。

濤川委員 令和9年度以降に、徐々に営業収益が増加すると見込んでいるのでしょうか。

菅原事業担当 ご推察のとおりです。営業収益に関しては浄水場の建設が完成した段階で水需要の増加を見込んでおります。

明石委員長 そのほかご質問、ご意見等はございませんか。

それでは、様々ご意見をいただきましたので、最終的には可能な範囲で反映していただくようお願いします。

### 【 3 議 題 】

#### (3) その他

明石委員長 続きましてその他ですが、事務局から何かありますか。

伊藤経営企画 今年度作成しました企業局のテレビコマーシャルなどをご紹介させていただきます。

15秒のテレビコマーシャルを上映した。

90秒のミニ番組を上映した。

明石委員長 その他、事務局から何かありますか。

---

事務局 本日の議事録は、後日各委員に照会のうえ、ホームページにて公開いたします。

なお、今年度の経営評価委員会は今日で最終日となり、次回の委員会は、7月に開催する予定としております。具体的な日時につきましては、後ほどご連絡いたします。

明石委員長 その他、各委員から何かございませんか。

無いようでしたら、本日予定しておりました議事は全て終了となります。スムーズな議事進行にご協力いただきありがとうございました。

それでは、残りの進行は事務局にお返しします。

#### 【 4 閉 会 】

佐々木次長 明石委員長、ありがとうございました。

委員の皆様、本日は貴重なご意見、ご助言を賜りまして誠にありがとうございました。

いただいたご意見等につきましては、参考とさせていただき、今後の業務運営に活かしていきたいと思っております。

閉会に当たりまして、局長から一言御礼を申し上げます

中里局長 本日は長時間に渡りご審議をいただきましてありがとうございました。毎回、熱心にご審議をいただき、貴重なご意見をいただいております。先ほどご覧いただきましたテレビコマーシャルにつきましても、企業局の取組をPRするべきという委員会でいただいたご意見を踏まえて企画したものでして、なかなか放送機会が限られますが、ご覧いただけますと幸いです。

本日も貴重なご意見をいただきまして、今後、最終的な仕上げの段階となります。県議会に説明しご意見をいただくほか、今後、最終案に対するパブリック・コメントも実施します。本日いただいたご意見も含めまして、再度全体を見直し、最終的に仕上げてまいります。

熱心にご審議をいただきありがとうございました。今後ともご指導のほどよろしくお願いたします。本日はありがとうございました。

佐々木次長 それでは、これを持ちまして、令和5年度第3回岩手県企業局経営評価委員会を終了いたします。ありがとうございました。

---